

フレイジオロジー研究会の設立趣旨

国内で初めての、「フレイジオロジー(Phraseology)研究会」(仮称)を設立します。この研究会の趣旨は以下の通りです。

Phraseology という言語研究の分野を表す用語にはいろいろな日本語の訳語が与えられています。訳語にこだわると意見が一致しない可能性があるので、ギリシア語の「句」を意味する φράσις と、「学問」を意味するギリシヤ語の接辞-λογία がもとになっている英語の phraseology をそのままカナ表記した「フレイジオロジー」と呼ぶことにします。

フレイジオロジーは、個別言語それぞれの個性を扱う分野です。その意味では、言語の普遍性を求める生成文法とは対極にあります。すべての言語の文法には普遍性があることについては疑う余地はないでしょう。ですが、言語の普遍性を追求することだけが言語学の使命ではありません。

個別言語の個性は抽象的な文法規則にも現れますが、フレイジオロジーは、語彙、語と語の結合の仕方、語と語が結合してできた成句、成句より更に固定化した熟語(イディオム)、パターン、諺などに現れる個性に関心を持ちます。語彙や語彙の結合によって生じる個別言語独特の表現法は深く文化や社会と関わっています。その関わりに関心をもつこともフレイジオロジー研究のひとつの方向です。

体系性を求めることが中心の言語学とは対極にあつて、個別性をさぐる言語学、それがフレイジオロジーです。言語に内在するすべての規則性を文法とする考え方からすれば、フレイジオロジーも文法的一部分であるとも言えるでしょう。しかしながら、フレイジオロジー研究者の間では、文法は抽象的規則を扱い、具体的な語彙に関わる言語現象を扱うのがフレイジオロジーであると考えます。以前には、文法と辞書の関係で、文法は体系性を、辞書は個別の現象を扱う、という二分割の考え方がありました。それに従えば、辞書とフレイジオロジーとはほとんど重なります。その意味で、フレイジオロジーは辞書学と深い関わりがあります。

また、近年のコーパスの発達と並行してフレイジオロジーも発展してきたという点から考えても、コーパスとフレイジオロジーの間には切っても切れない関係があります。そして、フレイジオロジーは、日本での、コーパスを使った研究のあり方についての指針になる可能性があります。

フレイジオロジーは、日本の英語教育の歴史の中では当たり前のようになっている考え方と共通点があります。英語を学習する場合、単語を独立して覚えるだけでは、英語を発話したり書いたりすることは難しいし、成句を把握したり、コロケーションから意味を汲み取ることができなければ正確に文章を読むこともできません。日本の英語教育では古くからこのことに気付いていて、どの語とどの語が結合しやすいのか、どの名詞や形容詞、動詞がどの前置詞をとるのかなどということを「コロケーション」と呼んで、その学習を

英語教育の大事な要素として考えてきました。

例えば、「日記」に対応する英語が **diary** であると覚えても、**diary** だけを単独で使うことはなく、「日記をつける」というような表現の中で使われます。**diary** と **keep** との結合を知って **keep a diary** となることを覚えていない限り英語らしい表現にすることはできません。ひとつひとつの単語と、単語を結合する文法規則を知っていれば言語を使いこなせると考えるのは誤りであることは明らかなです。日本の英語教育の中では、コロケーションも文法の一部として扱われてきたので、コロケーションに関わる問題が文法問題の一部として扱われています。

コロケーションはフレイジオロジーと同じではありませんが、重要な一部を成しています。フレイジオロジーは、現在、ヨーロッパを中心に研究活動が活発になっています。フレイジオロジーは、人間の豊かな言語活動、言語活動と文化・社会との関わりへと、生き生きとした人間の営みを研究対象とする、人間の本性に根付いた言語学と考えることができます。

言語教育者や言語研究者にとって、フレイジオロジーの研究がなぜ必要なのでしょう。この趣意書の中でその回答を試みるよりは、研究会の中での発表や報告、それに、これまでの内外の研究者の研究成果から判断していただく方がいいと思います。

この研究会は、世界で進行中のフレイジオロジー研究と日本の研究者を結ぶ窓口として、また、日本におけるフレイジオロジー研究の中心として、活動をしていきたいと考えています。

当面は、会費の徴収もしない（会場費や資料代として臨時に徴収することがあります）有志の勉強会とし、情報交換、今後の企画などを話し合う場になると思います。関心のある方の集まりを期待しています。

発起人代表 八木克正（関西学院大学）（研究会代表予定者）

井上亜依（防衛大学校）（事務局長予定者）

研究会メーリングリスト phraseology@ml.infoseek.co.jp

発起人

赤須 薫（東洋大学）、石川慎一郎（神戸大学）、石川圭一（京都女子大学）、井上亜依（防衛大学校）、梅咲敦子（立命館大学）、甲斐雅之（京都女子大学）、神崎高明（関西学院大学）、住吉 誠（摂南大学）、佐藤恭子（追手門大学）、田岡育恵（大阪工業大学）、滝沢直宏（名古屋大学）、堀 智子（東京工業高等専門学校）、土屋知洋（岐阜工業高等専門学校）、東野ツヤ子（関西学院大学非常勤講師）、平尾日出夫（立命館大学）、西出公之（都留文科大学）、八木克正（関西学院大学）